

# 市議団ニュース

連絡先

2016年9月4日号

杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058

石田利春 52-7260 平間益美 23-9519

【議員団控室（市役所4F）の住所・久喜市下早見85-3】

「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

## 市内全小中学校の給食センター建設

### これでは栗橋地域の自校方式が廃止に！！

# 久喜市、理科大跡地「総合教育拠点案」を示す

去る8月18日に全員協議会が開催され、本年2月から庁舎等検討委員会及び作業部会で市民からの意見募集も行い検討を進めてきた、東京理科大久喜キャンパス跡地の活用方針（案）が出されました。

基本的な考え方は、子育て、教育の充実を図り、若い世代にも選ばれる街作りの推進のための「子育て・教育センター」を作るという内容です。主な中身は次の通りです。

① B棟は主に久喜西児童館・子育てセンターとして乳幼児から学齢期までの相談・支援体制を一元的に対応できる機能をもたせる。  
② C棟は市民ラウンジ・視聴覚ホールとして開放する。

③ D棟は主に教育委員会事務局・教育長室として菖蒲から移転する。

④ E棟は子ども図書館。

⑤ F棟は「市民ギャラリー」の設置で市民の豊かな芸術文化の発展を目指す。一部シルバー人材センターを鷺宮から移転させる。

⑥ 特別棟は生涯学習センターとして、会議室・学習ホールの一般貸し出しの他、高齢者大学・市民大学・ゆうゆうプラザなどの拠点とする。

⑦ その他、5万3千㎡と広大な土地の有効活用から、市内全小中学校34校分、1日1万2千食の調理能力を持つ給食センターを、新たに建設予定とする。

駐車場が削減されるのでA棟は解体撤去し新たな駐車場とする。

全体工事は3期に分け、先行して教育委員会の移転を平成29年12月までに、特別棟は平成31年4月、その他の棟、給食センターは平成32年4月の使用開始を目指すとしています。

理科大跡地は現市役所よりはるかに広い面積をもつ建物になります。教育センターとして子育ての中心核を作ることには大変良いことですが、魅力あるものにならなければ人は集まってきません。市の郊外に位置するのでアクセス面もかなり重要です。単なる貸し教室、相談室だけにせず、若い人たちを引き付ける中身が重要です。市民の意見を最大限取り入れ工夫できるセンターにしなければなりません。この案では十分とは言えません。

また、市内全小中学校の生徒児童分の給食を賄う給食センターの計画は、これまでの審議会の検討や答申、栗橋地域で継続されて来た自校給食を望む市民の願いをふみにじる形となります。

市は、市民からのパブリックコメントを平成28年9月12日から10月11日まで予定しています。この案で最終決定とせず、今後市民から出されるさまざまな意見を反映できるように、検討を重ねる必要があると考えます。



「覚書」を交わした加須市への移転はどうなる

済生会栗橋病院が加須市へ移転する「覚書」については、「済生会栗橋病院あり方検討委員会」が設立されたことから、一旦横に置き考えて行くことになったと考えられます。それだけに「あり方検討委員会」が示す「とりまとめ案」が、現地存続か移転かを左右するものになると考えられます。

第1回目のあり方検討委員会では、委員長の選出や「とりまとめ案」を決定するまでのスケジュールなど確認されました。

加須市は「早く結論を出したい」意向

加須市からは「早く結論を出したい」との意向が示され、会議のスピード化や、決定までの経過などについても詳細に確認をしていました。

久喜市から済生会栗橋病院に新たな助成

①国の特別交付税を活用して助成することが明らかになりました。特別交付税の金額は、算定基準があり、ベッド数や患者数などに応じて算出され、市の試算では4791万2000円となります。9月議会には、補正予算として提案されました。

②これまで、医療機器などの購入に対し、1/2を助成して来ましたが、助成する対象を拡大し、病院の改修事業についても、補助対象となります。例えばエレベーターの改修なども支援することになりました。但し、上限の限度額5000万円はそのままです。これらが実施されれば、済生会栗橋病院には毎年1億円近い金額が助成されることとなります。

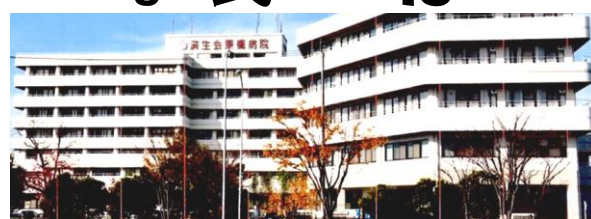
議員からの「建て替えに伴う助成は」との確認に、建て替えに伴う助成は考えていないとの説明でした。

この助成には、「ポートピア栗橋」からの寄付金が当てられています。「ポートピア栗橋」からの寄付金は、売上高1%が寄付されており、年間約1億2000万円が久喜市に入金されています。

久喜市民の健康といのちを守る病院として、存置に向けて、久喜市には、あり方検討委員会での検討内容も注視しながら、最大限の努力を求めています。

去る8月18日 久喜市議会で全員協議会が開催され、「済生会栗橋病院あり方検討委員会」に参加しての報告と、済生会栗橋病院への新たな助成について報告がありました。

済生会栗橋病院の  
加須市への移転は  
白紙撤回を！  
行政、議会、市民  
が共同した広範な  
取り組みにしよう



9月議会の日程です。傍聴にお越しく下さい

日時	曜日	会議種別	適用
1	木	本会議	開会、議員提出議案の上程、市長提出議案の上程
6	火	一般質問	(2)平間 (4)杉野
7	水	一般質問	(3)石田
8	木	一般質問	(1)渡辺
12	月	一般質問	
14	水	本会議 委員会	市長提出議案に対する質疑 予算決算常任委員会
15	木	委員会	総務財政市民常任委員会
20	火	委員会	福祉健康常任委員会
21	水	委員会	建設上下水道常任委員会
23	金	委員会	教育環境常任委員会
29	木	委員会 本会議	予算決算常任委員会 各委員長報告、全議案討論、採決

通告した質問項目

石田としはる

- 1 液状化対策は市民に寄り添い実施を。
- 2 学校給食費保護者負担分の値上げは見送るべき。
- 3 理科大跡地に給食センターを建設するが、自校方式による優れた学校給食は継続し拡大を
- 4 済生会栗橋病院現地存続するためさらなる支援を。
- 5 国保運営の広域化が進められる中、市民に寄り添った国保運営を。

杉野おさむ

- 1 市の臨時職員の処遇改善を求める。
- 2 東鷲宮駅地下道バリアフリー化事業の早期着手と早期完成に向けて推進を。
- 3 廃止した「移動図書館」事業の復活を求める。
- 4 「平和都市」にふさわしい平和事業の展開を求める。

平間ますみ

- 1 住宅リフォーム助成制度創設について
- 2 中学校新入学生の就学援助費の支給を入学式前に
- 3 五領橋付近を中心とした中落堀川の浚渫を
- 4 高齢者への福祉サービス「配食サービス」の改善を求める。

渡辺まさよ

- 1、介護予防・生活支援事業はサービスの低下をさせないように求める。
- 2、北中曾根地区の市道1183号線の歩道整備が途中で止まっている。早急にすすめるべきだ。
- 3、一人暮らし、車を運転しない方の夜間救急外来後の帰宅が困難である。福祉タクシーなどの対応をすべきだ。
- 4、久喜白岡休日夜間急患診療所運営から白岡市脱退の理由と今後
- 5、東京理科大跡地の活用案が出されたが、多くの人が集う、魅力あるものにするため、市民の意見が反映される進化するセンターを目指すべきだ。6割部分は進捗を市民に公表をすべき。